令和６年度事業報告書

ビジネス系の学科への志望者が減少しているとの情報もありますが、学生数を維持するために、今年も家庭の経済的な負担を軽減する目的で“高知で学んで高知で働く”をスローガンとして、学生募集に力を注いだ。

昨年度に比べてコンピュータ会計科及び公務員ビジネス科はほぼ同じ、IT ビジネス科は減少した。医療情報管理科は昨年と同様に非常に少なかった。高知県の医療事務系の学科の学生数は減少しているとの報告があるので募集停止して、令和 7 年度より学科の編成を実施して学生確保に力を入れる。

全体の入学者は令和５年度 55 名より 7 名減少した。

近年の傾向として精神的に弱い学生が増えているようで、５月のゴールデンウイーク明け又は夏休み明けに登校できなくなる学生が出ている。これらの対策のために、クラス運営や学生たちへの細かい対応が求められています。

高知県は公務員への希望が多いことから、今年度も公務員ビジネス科の学生数増加を目指した。当校の特徴である１年課程の魅力と奨学金の対象学科とであることや近年の合格実績（3 年連続 1 次試験合格率 100%）もアピール材料としている。

２年課程のコンピュータ会計科と医療情報管理科については、学科編成を実施して幅広い事務職に対応できるオフィスビジネス科を令和 7 年度より新設した。IT ビジネス科においてもカリキュラム編成を実施して、学科の特徴を再認識してもらう。

学校全体として今後も学生数を安定確保して、優れた人材を高知県に輩出するように努力を続けていきます。

就職率については、どの学科も好調で令和６年度卒業生は就職率 100%となった。
特に公務員を除いて、当校の特徴である高知県内への就職が大半を占めています。

全学科の就職率は過去 10 年連続で年度末実績 98%以上となっています。

令和６年４月　入学者数

	男	女	計
コンピュータ会計科	6	8	14
医療情報管理科	0	2	2
ＩＴビジネス科	7	8	15
公務員ビジネス科	10	7	17
合　計	23	25	48

令和７年３月　卒業者数

	男	女	計
コンピュータ会計科	10	5	15
ＩＴビジネス科	10	7	17
公務員ビジネス科	9	7	16
合　計	29	19	48

学校法人土佐明青学園
土佐情報経理専門学校